

“万博×中小企業・スタートアップ”のこれから

～2024年3月末の出展企業公表に向けて～

大阪ヘルスケアパビリオン内

「展示・出展ゾーン」

- News Letter -

【Vol.3】1月15日（月）発行



提供：（公社）大阪パビリオン

＼ 中小企業・スタートアップがミライを魅せる！ ／



◀ 「展示・出展ゾーン」公式ホームページ

【URL】 <https://osaka2025.site/>

公式SNS：X（旧Twitter）▶

【ユーザー名】@exposaka_reborn



Osaka
Healthcare
Pavilion
Nest for Reborn

2025年万博への出展をめざす中小企業・スタートアップを支援するリボンチャレンジ実施主体。今回は「（公財）大阪産業局（MOBIO）」「大阪シティ信用金庫」「大阪商工会議所（ウェルネス）」「大阪商工会議所（シリーズA）」の4者取材しました。実施主体紹介シリーズ第2回目となる今回も、各団体の取り組みや万博への想いなどをスペースの許す限り全力でお伝えします！

- ・企画・テーマの趣旨は？
- ・企業にはどんな支援を？
- ・万博にける想いは？



▲11月30日 大阪シティ信用金庫 取材時

リボンチャレンジ実施主体名



公益財団法人

大阪産業局

O.B.D.A.

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

MOBIO ものづくりビジネスセンター大阪

Manufacturing Business Development Center Osaka



【企画・テーマ名】

・MOBIO大阪パビリオン展示 No/BORdER～国境・垣根・時代・カベを越える技術展～

ものづくりの次の時代を作る

東大阪にあるものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）は『No/BORdER』をテーマに掲げ、万博を通じて“ものづくりのアップデート”を図る。「長年の歴史を受け継ぎつつ、これまで解決できなかった課題をイノベティブな発想で解決する。それが実現できれば、ものづくり企業が万博に出展する意義がある」と担

当者は話す。大阪のものづくりの過去・現在・未来がつながる空間を演出する予定だ。

製造業に特化した支援を

日本最大級の常設展示場を有するMOBIO。中小製造業の支援機関として培ってきた経験を活かし、技術や製品の効果的なPR方法に関するワークショップや、展示会での知的財産

の保護・活用を学べるセミナーなどで万博をめざす製造業にも手厚い支援を実施する。

公益財団法人 大阪産業局（ものづくりビジネス

センター大阪：MOBIO）

住所：〒577-0011

大阪府東大阪市荒本北1-4-17

電話：06-6748-1052

担当窓口：MOBIO事業部

リボンチャレンジ実施主体名



信頼で地域とつながる

大阪シティ信用金庫



【企画・テーマ名】

・未来の生活スタイル ～スマートルーム～

企業から感じた万博に対する熱量

大阪シティ信用金庫がテーマに掲げるのは“未来の生活”。そこには「あらゆる企業に出展機会を提供したい」という想いがあった。

あえて“生活”という幅の広いテーマにすることで、「もしかして自社も万博に…」と企業が挑戦してみようと思える設定を考えた。その結果、60を超える中小企業・スタートアップが

らの応募があったという。その後、応募者同士の交流会で積極的に情報交換を行う様子を見て「すでに万博は始まっているんだ」と強く感じた」と担当者は語る。

160㎡で「未来の部屋」を表現する

大阪シティ信用金庫は約160㎡の展示・出展ゾーンを複数の生活空間に見立てる。リビ

ング、キッチン等、エリアごとに表現される未来の部屋はどんな空間になるのだろうか。

大阪シティ信用金庫

住所：〒541-0041

大阪市中央区北浜2-5-4

電話：06-6201-2946

担当窓口：企業支援部

※掲載している内容は、いずれも発行時点のものです。

今後の事業の進展によって変更になる可能性があります。

【本件に関する問い合わせ先】

中小・スタートアップ出展企画推進委員会事務局 担当：井上
（公益財団法人 大阪産業局内）

TEL：06-6947-4365 MAIL：m-inoue@obda.or.jp





【企画・テーマ名】

・ウェルネスを実現するテクノロジーと空間

(1) ～カラダ（フィジカル）の健康と美容を実現するオフィス～

(2) ～ココロとアタマの健康を目指したオフィス～

日常に溶け込むウェルネスをめざす

“1日のうち8時間以上をオフィスで過ごす”という方も少なくないだろう。その時間をウェルネスの実現にも資するべく、大阪商工会議所は“オフィス”を1つのシーンとして、2025年の万博で未来の健康や美容を感じられる展示空間をめざす。

ただし、オフィスの定義は広く、例えば自宅や新幹線の車内などを仕事場にしている場面もよく見かける。それを踏まえて「ワークプレイスという考え方にに基づき、「働く時間」にスポットを当てて、より健康に、より美しくなれる空間を作る」とのことだ。

Ex-CROSS 2023.11.19



▲ てんしばで行われた“未来のウェルネス健診”

今回「カラダと美容」、「ココロとアタマ」の2軸に分けて、企画を立ち上げた。テーマで掲げる“ウェルネスを実現する”ことをめざし、目に見える部分だけではなく、体の内側からも健康・美容を実現するような新技術・新製品を開発する企業を支援している。

デジタル×バイオから生まれる未来

未来のウェルネスを表現するうえでは、デジタル技術とバイオテクノロジーの役割を意識することが欠かせない。「デジタルの利便性や簡易性、バイオの緻密さや精密さの両輪を組み合わせることで相乗効果が期待できる」と担当者は語る。

その先駆けに、2023年11月18日・19日、天王寺の「てんしば」で大規模な健康イベントを実施。中でも注目を集めたのは複数のスタートアップが連携して行った“未来のウェルネス健診”だった。通常の健康診断では欠かせない採血を行わず、汗や髪などから健康状態を測定。参加者からは「これだけで健康診断になるのか」と驚きの声が上がったという。

ここで得られたデータから今後の健康や美

容の改善につながる取り組みも紹介する。参加企業は、生活者とのコミュニケーションを通じてサービスや技術の実証を行った。

ミクロとマクロで包括的な支援を

企業に対して、ミクロ・マクロの視点で様々な支援を展開する大阪商工会議所。まず、マクロの視点では、ヘルスケア関連の企業等を集めて行ったマッチング会で、30件以上の共同研究・開発や受発注を、ビジネスミーティングレベルだと600件以上のマッチングを成立させた。

また、ミクロの視点での個社支援も手厚く行う。事業戦略に関するアドバイスをはじめ、専門家の紹介や広告等での適切な表現方法の指導など、万博をめざす企業に寄り添ったきめ細かいサポートを実施している。

大阪商工会議所

住所：〒540-0029

大阪市中央区本町橋2-8

電話：06-6944-6484

担当窓口：産業部 ライフサイエンス振興・スポーツ産業振興担当

リポーンチャレンジ実施主体名



【企画・テーマ名】

・Series A; セレクション ～輝く未来社会の創り手ここにあり～

中小企業の頂をめざして

大阪商工会議所は、シリーズAという言葉に“最上級”の意味を込めた。担当者は「ユニークな技術を持ち、業界のトップランナーとして走る企業とともに輝く未来を魅せたい」と意気込む。大学発スタートアップ、次世代テクノロジー等を軸に、来場者に「見て、触れて、楽しんで」もらえる展示内容を計画する。

それぞれの企業の“魅せる”を強化

企業への支援として特徴的なものの一つに、関西発のベンチャー企業応援プログラム「REACH REACH」と連携した支援メニューがある。(株)毎日放送、(株)博報堂等とともに、アナウンサーによる話し方セミナーやコピーライターによるキャッチコピー講座等で企業は発信力を強化し、“魅せ方”を学ぶ。

最上級のシリーズAを掲げる企業たちが2025年の万博で魅せる展示内容に注目したい。

大阪商工会議所

住所：〒540-0029

大阪市中央区本町橋2-8

電話：06-6944-6300

担当窓口：産業部 産業・技術振興担当

- イベント情報 -

1月16・17日
火・水曜日
10:00～17:00

◆出展候補企業を決定するピッチイベント

場所：ビジネスプラザおおさか
(大阪市中央区備後町2-1-1 4階)
問合先：りそなグループ (ビジネスプラザおおさか)
☎06-6202-1755

2月2日
金曜日
15:00～17:30

◆出展候補企業の交流会

場所：大阪商工信用金庫本店 商工信金ホール
(大阪市中央区本町2丁目2-8)
問合先：大阪商工信用金庫 経営企画部
☎06-6267-2865

2月22日
木曜日
12:00～(予定)

◆バイオプラスチック関連ビジネスマッチング会

場所：マイドームおおさか 2階ホール
(大阪市中央区本町橋2-5) ※別会場でセミナー有
問合先：(一社)西日本プラスチック製品工業協会
☎06-6538-6100

3月22日
金曜日
15:00～17:00

◆(仮称)万博まであと1年 みんなの想いを一つにする展示企画発表会

場所：みせるばやお (大阪府八尾市光町2-60 8階)
問合先：八尾市 魅力創造部 産業政策課
☎072-924-3845

【編集後記】今回は取材以外にも各実施主体が開催しているイベントに参加したんですが、集まった企業さんの話を聞いていると「未来を表現する」ための試行錯誤が伝わってきました。メディアの皆様、今回掲載したイベントへ一緒に取材に行きませんか？(井上)

次回、第4号は
「2月中旬」
発行予定！

【本件に関する問い合わせ先】
中小・スタートアップ出展企画推進委員会事務局 担当：井上
(公益財団法人 大阪産業局内)
TEL：06-6947-4365 MAIL：m-inoue@obda.or.jp